

10301外衣下着製造業における死傷災害100事例まで（2018年）

No	年	月	発 生 時	死傷災害事例	年 齢	事 故 の 型	起 因 物 (小)	労 働 者 規 模
1	2018	1	7 ～ 8	出勤時、車を会社の駐車場に止めて、社員玄関に移動の途中転倒した。右足の踝付近が負傷したようだと言った。当日朝除雪後に降雪があり、滑りやすい状況であったと思われる。	56	2	417	100 ～ 299 人
2	2018	2	15 ～ 16	自家用車のドアを閉めた瞬間に凍っていたコンクリート面に足を滑らせ転倒し、手首を痛めた。	61	2	719	30 ～ 49 人
3	2018	2	8 ～ 9	工場内でミシンからロックミシンへ移動中に、製品に躓いて右上腕を骨折した。	53	2	529	10 ～ 29 人
4	2018	3	13 ～ 14	建物内1階廊下を、書類を持って歩いていたところ、床につまずき転倒した。その結果、左ひざのじん帯を損傷した。	71	2	417	50 ～ 99 人
5	2018	4	12 ～ 13	集会所（食堂）にて、食器棚からカップを取り出し流し台に行こうとしていたとき、床に水滴が2～3滴落ちていた。本人が履いていた靴がかなり消耗しきっていたため、靴底がツルツル状態であり、水滴を踏んでしまった拍子に滑って転倒してしまった。	64	2	417	50 ～ 99 人

6	2018	5	14 ～ 15	入出荷用ホームで出荷作業中にホームの戸を閉めようとした際、足を滑らせて高さ約1mより膝から落下し転倒、右足の膝蓋骨骨折及び肘の打撲となった。	66	1	911	10 ～ 29 人
7	2018	5	8 ～ 9	徒歩で建物の玄関に向かっていたところ、玄関先のタイルの通路に溜まっていた雨水に足を滑らせ転倒し、腰部を強打した。	68	2	418	10 ～ 29 人
8	2018	6	12 ～ 13	工場の2階から1階に移動中に階段を踏み外し、腕を体の下敷きにして転んだ。	55	1	413	100 ～ 299 人
9	2018	6	13 ～ 14	縫製工場の裁断場で、延反台上に跪く姿勢で生地を移動させようとした際、腰を痛めて動けなくなった。	47	19	921	100 ～ 299 人
10	2018	7	10 ～ 11	前カン打ち付け工程において、誤操作でペダルスイッチを足で踏み込んでしまい、左手薬指が打ち機に挟まれて粉碎骨折したものである。	22	7	169	50 ～ 99 人
11	2018	7	8 ～ 9	工場にて縫製品を運搬中、フロアに置いてある段ボールに足を引っ掛けて転倒し、右膝を強打して骨折した。	70	2	417	50 ～ 99 人
12	2018	9	13 ～ 14	工場内の1階作業場でプリーツの型入れ作業中、作業で使用するPPバンドを足で踏んだ際に、転倒して右足付け根を骨折した。	57	2	521	30 ～ 49 人

13	2018	9	13 ～ 14	工場内の1階作業場でプリーツの型入れ作業中、作業で使用するPPバンドを足で踏んだ際に、転倒して右足付け根を骨折した。	57	2	521	30 ～ 49 人
14	2018	9	13 ～ 14	工場内の1階作業場でプリーツの型入れ作業中、作業で使用するPPバンドを足で踏んだ際に、転倒して右足付け根を骨折した。	57	2	521	30 ～ 49 人
15	2018	9	13 ～ 14	工場内の1階作業場でプリーツの型入れ作業中、作業で使用するPPバンドを足で踏んだ際に、転倒して右足付け根を骨折した。	57	2	521	30 ～ 49 人
16	2018	10	9 ～ 10	縫製作業中、トイレに行くため立ち上がった際、ミシンの脚につまづいて転倒し、左肘を強打した。	59	2	169	30 ～ 49 人
17	2018	10	12 ～ 13	工場敷地内にある駐輪場にバイクを止めて工場玄関に向かう途中、玄関入口前でつまづいて転倒し、入口の踏み石の角で顔面・左手・腰等を強打した。	70	2	417	10 ～ 29 人
18	2018	12	15 ～ 16	衣類の製品に印を付け、その印を目がけて工場の機械（エア圧力足踏み式）を使用してドット釘打ち（金属の釘を打ち付ける作業）中に、誤って右手中指を機械に挟んで骨折した。	64	7	169	30 ～ 49 人

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各小業種における死傷災害100事例まで（2018年）](#)に戻る。

